

5年生以上 課題文④

갈 새

갈새의 둥지를 털러 마을 앞 시냇가에  
있는 갈대밭으로 갔다.  
새끼 한 마리를 잡아  
갈대밭을 나오는데  
엄마 새가 따라오면서  
자기 새끼를 달라는 듯이  
애타게 울었다.

나는 못 들은 척하면서 집으로 왔다.  
갈대밭 어귀까지 따라오면서  
구슬피 울던 어미 새 때문에  
집에 와서도  
마음이 편하지 않았다.  
겉에 질린 갈새 새끼도  
내 손바닥 안에서 숨을 할딱거렸다.

새끼 잃은 어미 새도 불쌍하고  
어미 잃은 새끼 새도 애처로워서  
갈대밭 어귀에 가서 다시 놓아주었다.  
하지만, 그 갈새 새끼가 둥지로 무사히  
갔는지 가다가 길을 잃지는 않았는지  
걱정이 되어  
그 날 밤은 쉽게 잠이 오지 않았다.

カルセ

カルセの巢<sup>す</sup>を取りに村の前にある  
川<sup>あし</sup>辺の葦原<sup>あし</sup>に行った。  
子鳥を一羽<sup>つか</sup>、捕<sup>つか</sup>まえて  
葦原<sup>あし</sup>から出ようとすると  
親鳥がついてきて  
自分の子を返してと言っているかのように  
せつなく鳴いていた。

わたしは聞こえないふりをして家に帰った。  
葦原<sup>あし</sup>の入口までついてきて  
悲しく鳴いていた親鳥のことで  
家に帰っても  
心が安まることがなかった。  
おびえていたカルセの子鳥も  
わたしの手のひらの中で息をあえいでいた。

子鳥を失くした親鳥もかわいそうで  
親鳥を失くした子鳥も氣<sup>どく</sup>の毒<sup>どく</sup>で  
葦原<sup>あし</sup>の入口へ入って戻り放<sup>はな</sup>してあげた。  
しかし、その子鳥が無事<sup>す</sup>に巢<sup>す</sup>に戻ったのか、  
途中で迷子<sup>まいご</sup>になったのではないかと  
心配になり  
その日の夜はなかなか眠れなかった。

※ 갈새 (カルセ) = 오오요시키리. 스즈메의一種で背中はうすい褐色、腹面は黄白色。  
葦原<sup>あし</sup>に住む夏鳥で、冬は南方に渡る。